

Abraham Ortelius



# ヨーロッパ古地図にみる

JAPAN AND THE WORLD IMAGES OF EUROPEAN CARTOGRAPHY

# 世界と日本

主催 東北大学総合学術博物館  
小企画展



テイシェイラ日本図 『世界の舞台』 1595年 当館蔵 \*部分

2021年

10月15日(金) ~ 1月16日(日)

2022年

東北大学総合学術博物館(理学部自然史標本館)

- 開館時間 10:00 ~ 16:00 (月曜休館)
- 入場料 大人150円、小・中学生80円  
\*東北大学教職員および学生は身分証提示により入場無料
- アクセス 仙台市地下鉄東西線「青葉山」駅下車  
北1出口より徒歩3分



(@Tohoku\_U\_Museum)



(当館HP)

\*新型コロナウイルス感染症対策のため、会期の変更を行う場合がございます。詳しくはホームページでご確認ください。  
\*ご来館の際は感染症対策へのご協力をお願いいたします。



Youtubeで  
解説動画配信中!



古代の地理学者プトレマイオスが再発見されたルネサンス期のヨーロッパでは、それまでの聖書にもとづく世界像から離れ、世界の実際の形を描き始めました。1492年にはコロンブスが新大陸を発見し、1519年からマゼランが世界周航に出発しました。

16世紀に作られたオルテリウスの『世界の舞台』は、世界初の近代地図帳です。古今東西の地理情報を比較し、当時もっとも正しいと思われる大陸の形を選んで1冊にまとめました。そこでは当時の最新の知見と伝説が混じり合い、日本を含めた世界のイメージが変容していきました。

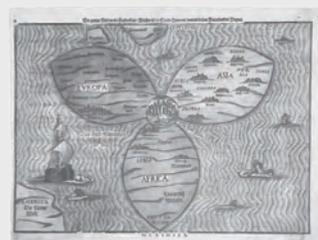
さまざまな形に描かれた日本は、世界のなかでどのように理解されていたのでしょうか。豊富な解説とともに迫ります。



## 主要展示地図



テイシェイラ日本図 1595年 銅版画 当館蔵



ピュンティンク [クローバーとしての世界図]  
1581年 複製 個人蔵



ピュンティンク [ペガサスとしてのアジア図]  
1581年 複製 個人蔵



鞆鞆図 (だったんず)「タルタリアまたは大汗国」  
1608年 銅版画 当館蔵



ピュンティンク [女王としてのヨーロッパ図]  
1581年 複製 個人蔵